

令和5年度松阪市児童生徒科学作品展 審査講評 (小学 5 年生)

理科が大好きな5年生の子どもたちによる47点の力作が集まりました。傾向としては、植物、昆虫などの生物分野の研究が多くなされていました。他にも身近なものを使った実験や、自分の興味・関心に基づいた研究など、読んでいてとてもわくわくするものばかりでした。

第一小学校 服部さんの研究「セミの栄養で生きる。」では、セミヤドリガの観察が詳しくなされ、特性や子孫を残すための知恵について深い考察がまとめられました。

これからも身近なところに興味・関心を持ち、自ら調べ、探究心あふれる研究に取り組んでいて欲しいです。